

## 事業者向け 放課後等デイサービス自己評価表（公表）

公表：2023年2月5日

事業所名：こどもサポート教室「きらり」岡崎校

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	改善目標、工夫している点など
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○			法令を遵守したスペースを確保している。
	②	職員の配置数は適切であるか	○			法令で必要とされる配置数に加え、指導員を1名以上（常勤換算による算定）配置するようにしている。
	③	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	○			玄関に段差はあるが、改善は困難である。屋内においては、段差はない。
業務改善	④	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○			業務に関する各種会議（清掃・防災・感染症など）を定期で実施している。非常勤職員など会議に参加できない場合は、会議録にて周知を図る。
	⑤	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○			ご意見をもとに改善に繋げていく。定期的な保護者面談にて意向を把握し、業務改善に繋げている。
	⑥	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○			自社・行政のホームページ・LINE・ブログ配信、ワムネット等を通して、公開を継続していく。
	⑦	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか	○			自社の他事業所とともに、今後検討していく。
	⑧	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○			月1回の事例検討会を実施。外部研修に参加するなど、資質向上を目指している。
	⑨	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○			ニーズをもとに、関係職員で話し合いを行い、計画を作成している。
適切な支援の提供	⑩	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○			社内で統一したアセスメントシートやプログラム（更新・体験受付シート）を使用している。
	⑪	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○			複数職員で担当する場合・専門性が求められる場合は、チームで取り組んでいる。必要に応じて全体会議にかけて立案を行っている。
	⑫	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○			支援の始めや終わりに、保護者様と今後について打ち合わせを行っている。
	⑬	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか		○		保護者面談と定期的に面談し、意向を把握している。
	⑭	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか			○	個別活動を軸に計画を作成している。集団活動の事業所を併用している利用者様については、各事業所に対するニーズを把握し、役割分担を行っている。集団活動のニーズがあるか、再度調査を行う。
	⑮	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○			打ち合わせにて確認を行っている。 非常勤職員など打ち合わせに参加できない場合は、今後も、書面にて周知を図る。

	⑯	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか			○	翌営業日の打ち合わせ、引き継ぎ時で、確認を行っている。非常勤職員など打ち合わせに参加できない場合は、ガルーン上にて周知を図る。
	⑰	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○			支援記録、業務日報などの記録を残し、次に繋げている。
	⑱	定期的モニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○			適切な期間でモニタリングを関係者で定期的に話し合いを行い、見直しをしている。
	⑲	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ、支援を行っているか	○			ガイドラインに沿って支援を行っている。
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	⑳	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○			各担当者が参加し、それぞれの専門性を活かし、意見を出し合っている。
	㉑	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○			保護者を通じて、学校の情報を掴んでいる。情報共有は、保護者の要望に応じて検討していく。
	㉒	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか		○		主治医や医療機関の検査結果を把握するようにしている。必要に応じて、事業所からの報告書を提出している。
	㉓	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか			○	保護者からの情報と意向に合わせて移行支援を行う。情報共有現状なし。
	㉔	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		該当無し。
	㉕	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○			研修、見学の機会を作り、参加している。定期的な実施ではないので、今後、拡大を検討していく。
	㉖	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか			○	保護者の意向を確認し、要望があれば、検討していく。
	㉗	（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○			保護者の意向を確認し、要望があれば、検討していく。
	㉘	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○			保護者の意向を確認し、要望があれば、検討していく。
	㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○			保護者からの要望に応じて実施している。
保護者へ	⑳	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○			契約の際、保護者と書面の読み合わせを行っている。質問にも適切にお答えしている。
	㉑	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○			相談に応じて必要な助言と支援を行っている。

の 説 明 責 任 等	③②	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか			○	個別療育であるため、保護者の意向を確認し、ニーズがあれば検討していく。
	③③	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○			個別療育であるため、保護者の意向を確認し、ニーズがあれば検討していく。
	③④	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○			ブログや掲示板、会報などを通して、活動内容やスケジュールを伝えている。
	③⑤	個人情報に十分注意しているか	○			個人情報は鍵付き書庫で管理している。
	③⑥	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○			視覚的な補助など、十分な配慮ができています。
非 常 時 等 の 対 応	③⑦	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○			個別療育であるため、保護者の意向を確認し、ニーズがあれば検討していく。
	③⑧	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知しているか	○			各種マニュアルを整備し、定期で会議・訓練を行っている。保護者への周知も実施している。
	③⑨	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○			年間スケジュールを作成し、月 1 回以上の訓練を行っている。
	④⑩	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○			月 1 回以上の研修を行っている。外部研修にも参加している。
	④⑪	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか	○			身体拘束について取り決めをし、保護者了解のもと、必要書類に記録を残している。
	④⑫	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか			○	食事提供なし。現在アレルギーのある利用者は、契約・更新時に把握している。配慮がある際は指示書を提示いただく。
	④⑬	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○			ヒヤリハット事例集を作成し、原因と対策の情報共有を行っている。定期で見直しを実施している。

## 保護者等向け 放課後等デイサービス評価の集計結果（公表）

公表： 2023年 2月 15日

事業所名： こどもサポート教室「きらり」岡崎校

保護者等数（児童数）： 45 回収数： 45 割合： 100 %

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見、ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	44	1		
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	41	3	1	法令で必要とされる人員を配置している。引き続き、契約時に文書を用いて説明を行う。不測の事態時は、校舎全体で支援を継続する。
	③	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	29	16		室内には段差はない。動線に配慮したレイアウトになるよう工夫している。
適切な支援の提供	④	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画 <sup>i</sup> が作成されているか	45			
	⑤	活動プログラム <sup>ii</sup> が固定化しないよう工夫されているか	7	9	29	引き続き、ご利用のたびにご要望を伺い、プログラムの見直しを行っていく。
	⑥	放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	45			再度、ご要望を調査する。必要に応じて、交流の機会を設けていく。
保護者への説明等	⑦	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	45			
	⑧	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	45			引き続き、ご利用時にフィードバックを行い、意思疎通や情報共有を行っていく。
	⑨	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	40	5		事業所内相談支援などの機会をご提案していく。
	⑩	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	3	12	30	再度、ご要望を調査する。必要に応じて、会の設立等の連携を図っていく。
	⑪	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	36	9		頂いた要望に、迅速かつ適切に対応していく。ご要望に応えられない場合は、代案を提示するなど、ご理解いただけるように努める。事業所全体に関することは、全利用者に周知していく。
	⑫	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	44	1		引き続き、ご利用時にフィードバックを行い、意思疎通や情報共有を行っていく。お便りや掲示板等を効果的に活用していく。
	⑬	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	29	16		個別のお知らせやお便り等で発信している。今後、必要に応じて、お知らせの方法を再検討していく。
	⑭	個人情報に十分注意しているか	44	1		
非常時	⑮	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	34	8	3	時期を決めて、周知や説明を行っている。ご利用開始のタイミングによっては、周知が不十分な保護者もいるので、時期や回数を再検討する。

等 の 対 応	⑬	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	30	14	1	お便りや掲示板等でお知らせしていく。利用者様も訓練に参加いただく。
	満 足 度	⑭	子どもは通所を楽しみにしているか	37	8	来所渋りのご相談を頂くこともある。これまで以上に、利用者様の意欲をサポートできるように努めていく。
		⑮	事業所の支援に満足しているか	43	2	ご利用のたびに、見学やフィードバックを実施している。今後も綿密な打合せを行い、支援の質を高めていく。

i 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

ii

事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障害特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。